

額田地域コミュニティ交通運行経緯 下山地区線(ささゆりバス)

下山地区線	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
人口	672人	663人	645人	629人	628人
世帯数	248世帯	246世帯	247世帯	248世帯	260世帯
運行変更日	H26.10.1	H27.5.18		H29.4.1	
運行日	月～金	月～金	月～金	月～金	月～金
運行本数	9月まで 市街地4～6便(週5日) 地区内4便(週2日) 10月以降 市街地便 4～6便(週5日) 地区内便 6便(週3日)	5月17日まで 市街地便 4～6便(週5日) 地区内便 6便(週3日) 5月18日以降 市街地便 4～8便(月～金) 地区内便 4便(火・金)	市街地便4～8便(月～金) 地区内便4便(火・金)	市街地便4～8便(月～金) 地区内便4便(火・金)	市街地便4～8便(月～金) 地区内便4便(火・金)
運行エリア	地区内⇄市街地	地区内⇄市街地	地区内⇄市街地	地区内⇄市街地	地区内⇄市街地
運行距離	●9月まで 北部診療所-岡崎げんき館前31.5km 桃ヶ久保-岡崎げんき館前 25.9km ●10月以降 北部診療所-岡崎げんき館前31.5km 桃ヶ久保-岡崎げんき館前 25.9km 北部診療所-豊田鉄工前 19.0km 桃ヶ久保-豊田鉄工前 13.0km	北部診療所-岡崎げんき館前 31.5km 北部診療所-豊田鉄工 19.0km 桃ヶ久保-岡崎げんき館前 25.9km 桃ヶ久保-豊田鉄工前 13.0km	北部診療所-岡崎げんき館前 31.5km 北部診療所-豊田鉄工 19.0km 桃ヶ久保-岡崎げんき館前 25.9km 桃ヶ久保-豊田鉄工前 13.0km	北部診療所-岡崎げんき館前 31.5km 北部診療所-豊田鉄工 19.0km 桃ヶ久保-岡崎げんき館前 25.9km 桃ヶ久保-豊田鉄工前 13.0km	北部診療所-岡崎げんき館前 31.5km 北部診療所-豊田鉄工 19.0km 桃ヶ久保-岡崎げんき館前 25.9km 桃ヶ久保-豊田鉄工前 13.0km
基本運賃 (学区内・学区間・地区外)	200円・300円・500円 小学生～高校生半額 未就学児無料	200円・300円・500円 小学生～高校生半額 未就学児無料	200円・300円・500円 小学生～高校生半額 未就学児無料	200円・300円・500円 小学生～高校生半額 未就学児無料	200円・300円・500円 小学生～高校生半額 未就学児無料
運行車両	小型バス	小型バス	小型バス	小型バス	小型バス
地元組織	ささゆりバス委員会	ささゆりバス委員会	ささゆりバス委員会	ささゆりバス委員会	ささゆりバス委員会
その他	フリー乗降区間有	フリー乗降区間有	フリー乗降区間有	フリー乗降区間有	フリー乗降区間有
運行経費①	13,067,490	14,021,841	13,678,243	15,840,173	18,020,103
運賃収入等②	811,100	1,121,550	1,200,600	1,284,250	1,164,000
協賛金③				379,200	-
国補助金④	1,367,000	1,599,000	1,334,000	1,325,000	805,000
委託料⑤ ①-(②+③+④)	10,889,390	11,301,291	11,143,643	12,851,723	16,051,103 (平成30年度契約額)
利用人数	4,170人	4,920人	5,116人	4,683人	1,369人(7月末時点)
(内 高校生人数)	647人	1,619人	1,929人	1,960人	447人(7月末時点)
日平均利用者数	17.1人/日	20.2人/日	21.1人/日	19.2人/日	16.5人/日
一便当り利用者数	2.4人/便	2.9人/便	3.1人/便	2.7人/便	2.3人/便
一人当り市費負担額	2,611円/人	2,297円/人	2,178円/人	2,744円/人	3,908円/人
備考	【運行内容の変更】 10月 日中の時間において、豊田鉄工前バス停で折り返すことで地区内便線を増やし、市街地便線を減らした。	【運行内容の変更】 5月 ・市街地便線の新たな活用を図るため、市街地便線の運行日を一日増やし、地区内便線を一日減らした。 ・豊田鉄工前～北部診療所間を便数を1往復(2便)減らした。 【利用促進策】 ・老人クラブの活動で市街地便線を活用した。 ・バスと自転車を乗り継いで高校生が通学しやすくなるよう、岡崎げんき館前バス停近くに駐輪場を整備した。 ・小学生の夏休み期間中に、小学生にスタンブカードを配付し、小学校のプール開放日にバスを利用し、支払った運賃の一部をPTAが補填する取り組みを行った。	【地域の意見収集等】 ・ささゆりバスの利用に関するアンケートを各世帯に配付・回収し、地域住民の意見を集約し、運行内容の変更を検討する参考資料とした。 【利用促進策】 (H27の活動を継続して実施) ・老人クラブの活動で市街地便線を活用した。 ・バスと自転車を乗り継いで高校生が通学しやすくなるよう、岡崎げんき館前バス停近くに駐輪場を整備した。 ・小学生の夏休み期間中に、小学生にスタンブカードを配付し、小学校のプール開放日にバスを利用し、支払った運賃の一部をPTAが補填する取り組みを行った。	【運行内容の変更】 4月 月・水・木曜日 3便目を、市民病院・岡崎げんき館で他の路線バスの乗継ぎに余裕のあるダイヤとした。 火・金曜日 診療後の帰りのバスを2本に増やし、長時間待たずに乗車できるダイヤとした。 【利用促進策】 ・H28の活動を継続して実施 ・運行パンフレットの配布 ・協賛金(1月から) ・バス利用状況回覧 ・得々バスパンフレット回覧	・委託料等(①～④)は平成30年度契約ベース ・「一人当たり負担額」=委託料(4ヶ月)÷利用人数(7月末時点)